

(5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

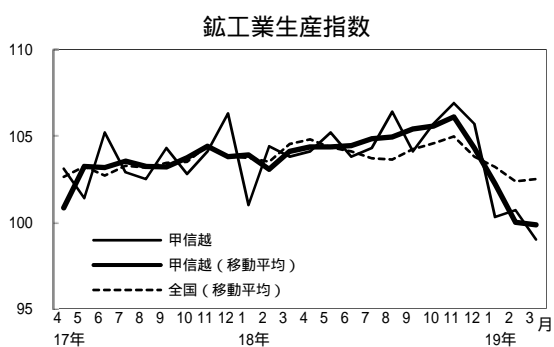
前回からの主要変更点

	前回(平成31年2月)	今回(令和元年5月)
景況判断	緩やかに回復	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調
鉱工業生産	持ち直し	弱含み

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでいる。

1 - 3月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。甲信越の最新月は速報値。
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	4.5	4.5	5.8	0.9	1.1
汎・生産・業務用機械	24.8	0.7	11.6	10.1	0.8	4.6
食料品・たばこ	12.0	0.3	-	1.7	0.0	-
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	0.7	4.8	3.9	0.3	0.9
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	2.1	3.5	1.7	0.9	2.8
鉱工業	100.0	1.1	5.7	5.1	0.4	1.7

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。
 2. 1 - 3月期、3月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

(5) 甲信越

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

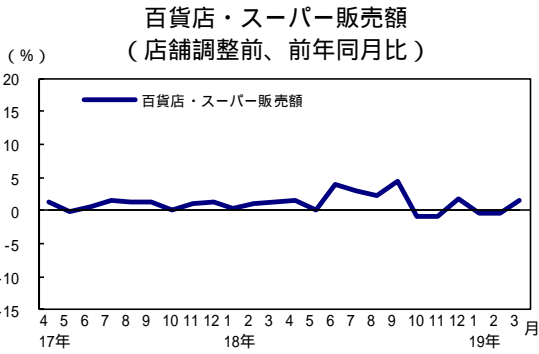
1月は前月比0.2%減、2月は同0.2%減、3月は同0.8%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

1月は、食料品、衣料品がともに低調であったことなどから、前年を下回った。

2月は、暖冬の影響などから食料品、衣料品を中心に伸び悩み、全体でも前年を下回った。

3月は、衣料品は弱めの動きとなったものの、食料品は堅調に推移し、前年を上回った。



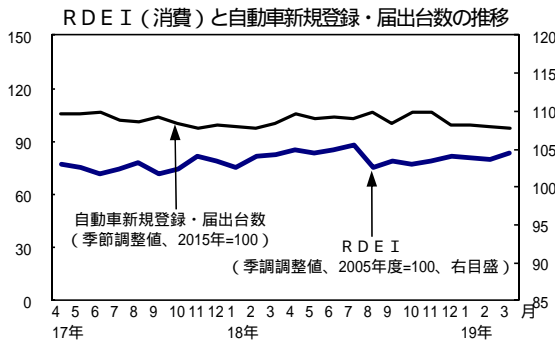
	2019年1-3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.4	0.2	0.2	0.8
百貨店・スーパー(*2)	0.2	0.4	0.6	1.6
乗用車(*3)	1.8	2.0	0.0	4.8
(季節調整値)(*3)	5.4	0.8	1.7	1.8

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

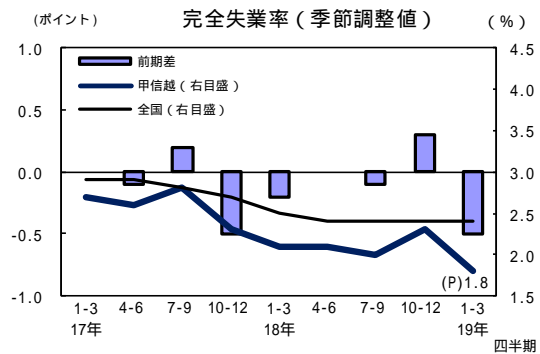
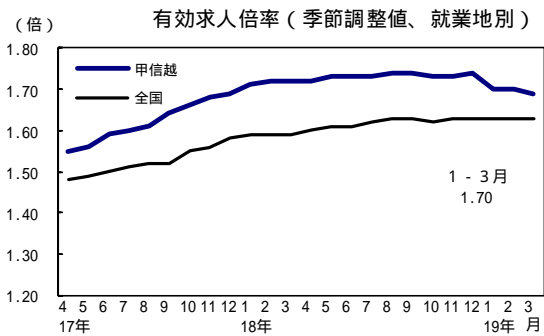
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 上段は前年同期(月)比 (%)



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 1. 内閣府にて算出、季節調整。

2. 1-3月期の値は暫定値。